

## まえがき

本研究は「自然資本の利活用と農山漁村づくりの構築による食料システムを支える持続可能な農山漁村の創造に関する研究（令和4～6年度）」の一環として行われた「農山村の持続的発展に向けた農村RMOの役割と課題に関する研究」の成果である。農地保全，地域資源活用，生活支援に取り組む農村RMO（Region Management Organization：地域運営組織）の調査・分析を行い，組織の設立に至る経緯や現在の活動状況を分析し，その発展条件や課題を解明することを目的としている。

当研究所では，地域運営組織や広域地域組織に関する研究が継続的に行われてきたが，令和4年度より農林水産省の事業として「農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業」が開始されたことを契機として，本研究に着手した。農村RMOの事業開始とともに始まった研究であるため，政策的な経緯や当研究所で蓄積された農山村問題に関わる研究レビューをふまえた論点整理を行いつつ（第Ⅰ部），「農村RMOとは何か」ということから手探りで検討し，その取組や組織的な特徴を理論的に分析することに重きを置いている（第Ⅱ部）。また，農村RMOの長期的な活動を展望するため，先行して活動するRMOを対象とし，活動の転換期における地域での合意形成の手法や伴走する中間支援組織の関与のあり方についても調査・分析を行った（第Ⅲ部）。こうした試行錯誤の研究であるため，本研究は，農村の現場を熟知した以下の専門家の方々にご協力をいただいている（所属は刊行時）。

- 福田 竜一 宇都宮大学教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第3章，第4章，第6章，終章）
- 平口 嘉典 女子栄養大学准教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第3章，第4章）
- 中村 勝則 岩手大学教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第3章，第4章，第5章）
- 若林 剛志 信州大学准教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第3章，第6章）
- 尾中 謙治 農林中金総合研究所主任研究員，農林水産政策研究所客員研究員  
（第4章，第6章）
- 寺林 暁良 北星学園大学准教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第4章）
- 鷺尾 環 元秋田県立大学大学院  
（第5章）
- 江川 章 中央大学准教授，農林水産政策研究所客員研究員  
（第6章）

本報告書が農村 RMO の活動はもとより、広く地域づくりの実践や推進・支援に際しての一助となれば幸いである。

最後に、研究の実施にあたり、調査にご協力いただいた現地の農村 RMO・RMO および関連組織の方々、中間支援組織や関係諸機関の方々に心より感謝申し上げます次第である。

令和 8 年 3 月

農林水産政策研究所  
農村 RMO 研究チーム